

## 令和2年度公共用水域及び地下水の水質測定結果の概要について

水質汚濁防止法の規定に基づき、県、国土交通省及び金沢市が令和2年度に実施した公共用水域及び地下水の水質測定の結果の概要は、次のとおりである。

### 1 公共用水域の水質測定

#### (1) 水域及び測定地点数

水 域	水域数	測定地点数			
		県	国土交通省	金沢市	計
河 川	49	101	6	45	152
湖 沼	3	8	—	—	8
海 域	11	32	—	6	38
計	63	141	6	51	198

#### (2) 環境基準の達成状況

① 人の健康の保護に関する環境基準（カドミウムなど27項目）  
63水域中36水域を測定した結果、全ての水域で達成

② 生活環境の保全に関する環境基準（BOD、CODなど9項目）

ア BOD又はCOD（有機物による汚濁の程度を表す指標）

(ア) 河川（BOD） 49水域中45水域が達成（達成率 92%）

(イ) 湖沼（COD） 3水域全てが基準を超過（達成率 0%）

(ウ) 海域（COD） 11水域全てが基準を達成（達成率100%）

湖沼3水域のCOD（年平均値）の推移 (mg/L)

湖 沼	これまでの最大値	H28	H29	H30	R1	R2
河 北 潟	H6年度 8.9	6.1	5.5	5.2	5.3	5.0
木 場 潟	H2年度 11	6.6	6.4	6.5	6.5	5.8
柴 山 潟	H6年度 7.7	5.6	5.6	5.3	5.8	5.5

イ 全窒素及び全リン

（閉鎖性水域における植物プランクトン増殖の指標）

(ア) 湖沼 全窒素は3水域中1水域が達成（達成率 33%）

全リンは3水域全てが基準超過（達成率 0%）

(イ) 海域 全窒素及び全リンとも2水域全てが達成

（達成率100%）

## 2 地下水の水質測定

### (1) 概況調査

県内の地下水質の概況を把握するため、市街地等の76井戸(県69、金沢市7井戸)で、環境基準が定められている有害物質28項目を調査

(井戸数)

区 分 項 目		調査 井戸数	環境基準を達成		環境基準を 超 過
			不検出	環境基準 以下で検出	
自然界に存在 する物質	ヒ素	76	73	2	1*
	フッ素		62	13	1*
	ホウ素		73	3	0
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素		9	67	0
	鉛		75	1	0
	その他4項目		76	0	0
自然界に存在 しない物質	テトラクロエチレン等 揮発性有機 塩素化合物10項目	75	1	0	
	その他9項目	76	0	0	
合 計		76	75		1

※重複あり(1井戸)：同一井戸でヒ素及びフッ素が基準超過

### (2) 汚染井戸周辺地区調査

「(1)概況調査」で基準を超過した井戸周辺の15井戸で調査

(井戸数)

区 分 項 目		調査 井戸数	環境基準を達成		環境基準を 超 過
			不検出	環境基準 以下で検出	
自然界に存在 する物質	ヒ素	15*	5	6	4
	フッ素	15*	15	0	0
合 計		15	11		4

※重複あり(15井戸)：同一井戸でヒ素及びフッ素を調査

### (3) 定期モニタリング調査

昨年度までの「(1)概況調査」や「(2)汚染井戸周辺地区調査」で過去に地下水汚染が確認された120井の状況を継続的に監視・調査

(井戸数)

区 分 項 目		調査井戸数	環境基準を達成		環境基準を 超 過
			不検出	環境基準 以下で検出	
自然界に存在 する物質	ヒ素	27*	1	2	24*
	フッ素	7*	0	3*	4
	ホウ素	3*	0	0	3*
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	3	0	2	1
自然界に存在 しない物質	テトラクロエチレン等 揮発性有機 塩素化合物10項目	82	10	66	6
合 計		120	83		37

※重複あり(2井戸)：同一井戸でヒ素及びフッ素、又はヒ素及びホウ素を調査、フッ素以外基準超過